

かみすげたささのおか

令和4年11月30日
上菅田笹の丘小学校
学校だより12月号



上菅田笹の丘小学校 学校教育目標
自分大好き 仲間大好き
心かがやく上菅田笹の丘小学校



「本に親しもう」

校長 世古 正樹

カレンダーも最後の1枚、1年がたつのが本当に早く感じられます。今年も残すところあと1か月となりました。何かと慌ただしい年末ですが、1年のまとめだからこそ、ちょっと呼吸を整えて周りを見渡す余裕をもちたいと思います。

日頃より新型コロナウイルスの感染拡大防止対策にご協力いただき、誠にありがとうございます。教育委員会から通知のありましたマスクの着脱について、先日、マチコミでお知らせをいたしました。

- 屋外では、原則マスク着用は不要です。(人との距離が保てず、会話をする場合はマスクを着用)
- 体育の授業では、運動場に限らず、プールや体育館等を含め、マスクの着用は必要ありません。
- 登下校の際には、マスクの着用は必要ありません。

この通知を受けまして本校では、屋外や体育の授業、登下校、屋内で距離が確保でき、会話がほとんどない場合等には、マスクを外してよいことを子どもたちに伝えていきます。合わせて、うがいや手洗いの励行、アルコール消毒、こまめな換気、給食における黙食、児童下校後の消毒作業等、引き続き感染拡大防止対策を講じながら教育活動を進めております。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、11月22日の朝会で、子どもたちに私のお勧めの本を紹介しました。長い文章を読むことが苦手な子どもは、まずは詩を読んでみようと話し、谷川俊太郎さん「ことばあそびうた」、金子みすゞさん「わたしと小鳥とすずと」、まど・みちおさん「まど・みちお詩集」を紹介しました。それから、一つ一つのお話が短くて読みやすい星新一さんの作品「盗賊会社」を紹介しました。また、有名な人の一生が書いてある伝記は自分の生き方の参考になり面白いと伝え「エジソン」を紹介しました。最後に、自分が好きなことの本を読んでみようと話し、自分が大好きなサッカーに関する長谷部誠選手と遠藤航選手の本を紹介し、書かれている言葉についても話しました。

＜心を整える。長谷部誠選手（前日本代表主将）＞

- ・意識して心をしずめる時間をつくる。(自分自身で自分の心をコントロールする)
- ・整理整頓は、心の掃除に通じる。(整理整頓することで、心が落ち着く)
- ・読書は、自分の考えを進化させてくれる。(本を読んで、たくさんの考え方や気持ちに触れる)
- ・楽な生き方に流されると、誰かが傷つく。(まわりに流されない 自分の想いをもつ)

＜「楽しい」から強くなれる 遠藤航選手（現日本代表、'16 リオデジャネイロオリンピック主将）＞

- ・人と比べない。(自分自身が一歩でも前進するようにしていく)
- ・難しさはやりがいになる。(苦手なこと、辛いことから逃げない)
- ・好きな気持ちは、力になる。(努力する原動力は、好きな気持ち)

携帯電話の普及やSNSの活用拡大等により、子どもたちの「活字離れ」が言われて久しいですが、やはり本を読むことは、子どもたちの理解力や表現力の向上に大きく影響しています。何よりも、本を読んで自分の知らない世界を知ることが、ドキドキ感やワクワク感につながります。自分に合った本を選んで読書を続けていくことを、これからも子どもたちに呼びかけていきたいと思っています。

今年一年、保護者の皆様、地域の皆様には、学習活動、健康安全、行事等、様々な場面においてご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。先日は、急なお願いにも関わらず、たくさんの地域ボランティアの方が5年生の彫刻刀の安全管理のお手伝いをしてくださいました。また、今年度も地域の農家の方にご協力いただき、複数の学年が大根や小松菜、ほうれん草、チンゲン菜、かぶなどを栽培しています。順次、給食の食材としてメニューに加わります。今後も、保護者の皆様、地域の皆様とともに歩む学校づくりを目指して参ります。来年も引き続き本校の教育活動にご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。